

音楽科学習指導案

題材名「詩の内容と曲想の変化や音楽の特徴との関わりを感じ取ろう」

教材名「魔王」 作詞／ゲーテ 作曲／シューベルト 日本語詞／大木惇夫・伊藤武雄

令和6年10月 第1学年 指導者 萩原 裕輔

I 題材の構想

1 題材観

本題材で取り扱う中学校学習指導要領（平成29年3月公示）の内容は以下のとおりである。

第1学年【B鑑賞】

（1）鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の（ア）から（ウ）までについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。

（ア）曲や演奏に対する評価とその根拠

イ 次の（ア）から（ウ）までについて理解すること。

（ア）曲想と音楽の構造との関わり

〔共通事項〕 （1）ア・・・音色、リズム、速度、旋律、強弱

本題材は、「魔王」の鑑賞を通して、曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について、自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことをねらいとしている。

鑑賞の授業では、曲を聴いて感じたことを漠然と伝えたり、紹介文にしたりするだけでなく、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの諸要素や構造と曲想との関わり、それらによって生み出される効果を感受し、思いや意図をもって、自分なりに評価をし、他者に自分の言葉で説明することが大切である。

本題材では、「魔王」の日本語詞を基に、五つの音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、強弱）に着目しながらドイツ語詞による「魔王」を鑑賞し、曲のよさや美しさ、登場人物ごとの特徴や心境の変化について考えることで、曲想と音楽の構造との関りについて理解できるようにする。そして、自分なりに評価した内容をグループで他者に言葉で説明したり、紹介文で表したりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分の言葉で伝える力を身に付けさせたい。

「魔王」は、シューベルトが18歳のときにゲーテの詩に出会い、深く感銘を受け作曲した歌曲である。詩と音楽が一体となった効果や演奏者の表現に引き込まれる作品で、情景や登場人物の心情をイメージしやすい曲である。

「魔王」は「子」「父」「魔王」「語り手」の四人の登場人物の音の高低や強弱、調、伴奏のリズム等の変化で、それぞれの心情などが表わされており、詩と音楽が一体となった劇的な効果を理解しやすい曲である。そして、歌い手の表現力により巧みに歌い分けられていることを感じ取ることで、場面展開をより豊かにイメージすることができる。また、「魔王」は音源や映像などの資料が充実しているため、様々な方法で鑑賞することを通して、いろいろな角度から楽曲にアプローチし、たくさんの発見ができる。

これらのことから、音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、強弱）と、歌詞や曲想との関わりを感じ取り、自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くのに適した教材だと言える。また、鑑賞教材で学習したことを、今後の他の歌唱教材に取り組む際の発声や表現の工夫にもつなげることが有効であると考え、本題材を設定した。

2 研究との関わり

中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説音楽編 1 学年の鑑賞領域の内容には「鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと」とある。中学校で鑑賞教材として扱う楽曲は、生徒たちにとっては馴染みのないものもあり、鑑賞することに抵抗がある生徒も少なくない。また、聴いた曲について感想文や批評文にまとめるといった活動も、正解がないため苦手とする生徒もいる。本研究では学習指導要領にもある、その曲の「よさや美しさ」を生徒自身が見いだせるようにしていきたい。そのため、感想文や批評文にまとめるといった、一般的な活動に留まらず、その曲の「よさや美しさ」に注目できるような活動を取り入れていきたい。

今回の学習では、まずドイツ語詞の「魔王」を鑑賞し、曲名と曲想のみに注目して楽曲のよさや美しさを生徒自身が見付け、日本語詞の「魔王」への興味関心を引き出したい。その後、日本語詞の「魔王」を鑑賞し、登場人物の心境の変化等を感じ取ることで、詩と音楽の一体化による、新たなよさや美しさに触れさせたい。また、個人の活動に留まらず、その「よさや美しさ」を、音楽を形づくっている要素などを根拠にまとめ、伝え合うことにより、その曲の魅力を深めていく面白さに気付いてほしい。

3 題材の目標及び生徒の実態

	目標	生徒の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none">「魔王」の曲想と音楽の構造、歌詞との関わりについて理解することができる。	<ul style="list-style-type: none">「春」の鑑賞では「音楽の要素カード」を頼りにしながらではあるが、曲の特徴をとらえ、簡単な言葉で表すことができた。また、音楽を形づくっている要素やソネット（場面を表す詩）を基に、場面の変化に気付くことができた。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none">「魔王」の音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、「魔王」の曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、よさや美しさを味わって聴くことができる。	<ul style="list-style-type: none">「春」の鑑賞では、半数程度の生徒が、各場面のよさや美しさを自分の言葉で表すことができた。自分の言葉で表すことが苦手な生徒も、様々なデータや友達の意見を基に、文章にまとめることができた。また、一つの場面に対し、複数のよさや美しさを見付け、自分の言葉で表すことができた生徒もいる。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none">「魔王」の曲想と音楽の特徴との関わりや歌唱表現の工夫に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとする。	<ul style="list-style-type: none">中学校の授業にも徐々に慣れ、音楽を形づくっている要素を中心に鑑賞が進められるようになってきた。一部の生徒は、音楽を形づくっている要素を知覚したり言語化するのが難しかったり、感じたことをうまく自分の言葉で表せなかつたりする。

4 評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none">「魔王」の曲想と音楽を形づくっている要素との関わりについて理解している。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none">①音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受して登場人物の声の特徴を捉え、心情の変化と結び付けることができる。②複数の歌手による演奏を比較聴取し、表現の違いや演奏者の工夫について考え、それぞれのよさやその根拠を自分の言葉で表現することができる。③今まで学習したことを基に、その演奏のよさや美しさとその根拠について考え、自分の思いや意図が他者に伝わるよう、自分の言葉で紹介文にまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none">曲想と音楽を形づくっている要素との関わりや登場人物の声の特徴に関心をもち、主体的に鑑賞の学習に取り組み、楽曲に対する自分の思いや意図を紹介文で他者に伝えようとしている。

5 指導及び評価、I C T活用の計画（全3時間：本時第1時）

過程	時間	■ねらい □学習活動 ★ I C T活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目<方法（観点）> ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
つかむ	1 (本時)	<p>■ドイツ語詞の「魔王」を鑑賞し、曲想と音楽を形づくっている要素との関わりやそれぞれの登場人物の特徴から、楽曲のよさに触れられるようする。</p> <p>[題材の学習課題・問い合わせ] 詩と曲想や音楽の特徴との関わりを感じ取り、魔王のよさや、作曲者の工夫について考えよう。</p> <p>□曲名のみを知り、ドイツ語詞の「魔王」を鑑賞し、音楽を形づくっている要素を知覚する。（★） □登場人物を確認し、自分が知覚した音楽を形づくっている要素を登場人物と結び付ける。（★） □知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「魔王」のよさや美しさ（怖さ）を共有する。</p>	●			<p>◆「魔王」の曲想と音楽を形づくっている要素との関わりについて理解している。 <観察・ワークシート(知)></p> <p>◆曲想と音楽を形づくっている要素との関わりや登場人物の声の特徴に関心をもち、主体的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。 <観察・ワークシート(態)></p> <p>[本時のめあて・課題等] 曲想の変化や音楽の特徴から物語や人物をイメージし、「魔王」のよさを見つけよう</p>
追求する	2	<p>■「魔王」（日本語詞）を語り手・父・子・魔王の四つの登場人物別に鑑賞し、それぞれの役にどんな特徴があるのかを、音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気に関わらせて考えられるようする。</p> <p>□前時に鑑賞した際に感じた、声の特徴や音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を基に、登場人物を結び付ける。</p> <p>□登場人物ごとの心境の変化を、声の特徴や音楽を形づくっている要素とその働きに着目して考える。（★）</p> <p>[本時のめあて・課題等] 曲想の変化や音楽の特徴から、登場人物の心境の変化を考えよう。</p>	●			<p>◆音楽を形づくっている要素に基づき、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受して登場人物ごとの声の特徴をとらえ、心情の変化と結びつけることができる。 <観察・ワークシート(思①)></p>

まとめる	3	<p>■様々な視点から捉えた「魔王」のよさを紹介文形式でまとめ、その曲のもつよさや美しさを自分の言葉で表現できるようにする。</p> <p>□特徴のある三種類の演奏を映像で鑑賞し、それぞれのよさについて考える。 (★)</p> <p>□「魔王」の魅力やおすすめポイントなどを自分の言葉で紹介文にまとめる。 (★)</p>		●	●	<p>◆複数の歌手による演奏を鑑賞し、表現の違いや演奏者の工夫について考え、それぞれのよさやその根拠を自分の言葉で表現することができる。</p> <p><観察・ワークシート (思②)></p> <p>◆学習したことを基に、その演奏のよさや美しさとその根拠について考え、自分の思いや意図が他者に伝わるよう、自分の言葉で紹介文にまとめることができる。音楽の要素に基づいた自分の思いや意図を紹介文にし、人に伝えようとしている。</p> <p><観察・ワークシート (思③)></p> <p>◆曲想と音楽を形づくっている要素との関わりや登場人物の声の特徴に関心をもち、主体的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p> <p><観察・ワークシート(態)></p>
				<p>[本時のめあて・課題等]</p> <p>「魔王」の魅力を紹介文にまとめて、伝えよう。</p>		

II 第1時の学習

1 ねらい ドイツ語詞の「魔王」を鑑賞し、音楽を形づくっている要素を基に知覚したことと登場人物の特徴や曲想を結び付ける活動を通して、曲のよさや美しさに気付けるようにする。

2 展開 注：学習過程ははばプラⅡを参照する

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応 [S] ★ I C T 活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 「魔王」という曲名を伝え、どんな曲なのかイメージする。 (導入5分)</p> <p>S : 怖い曲だろうな</p> <p>S : 曲名は知っているけど、どんな話なのだろう</p> <p>S : 他にどんな人物が出てくるのだろう？</p> <p><めあて・課題等> 曲想の変化や音楽の特徴から物語や人物をイメージし、「魔王」のよさを見つけよう</p>	<p>○後の発想を広げるように、自由にイメージしてよいことを助言する。</p>
<p>2 ドイツ語詞の「魔王」を聴き、音楽を形づくっている要素と関連付けながら、曲の特徴をつかむ。 (展開①10分) (★)</p> <p>S : ピアノのリズムが激しいな</p>	<p>○音楽を形づくっている要素に注目するため、「音楽の要素カード」を活用する。</p> <p>○音楽を形づくっている要素を五つに絞ることで、注目する要素を明確し、気付いたことを</p>

<p>S : 低い声や高い声を使っているな S : 激しい声がするな S : 速度は速いな</p>	<p>デジタルワークシートに入力するよう促す。 ○他の情報を入れないで今聴いている音楽に集中できるよう、教科書は開かないよう促す。 ○自由な意見を引き出せるように、音楽の要素カードに載っていない言葉も使ってもよいことを助言する。</p>
<p>3 登場人物（役割）を知り、もう一度鑑賞し、つかんだ音楽の要素の特徴がどの人物に当てはまるのかイメージする。（展開②15分）（★）</p> <p>S : 子どもは音が高いな S : お父さんは低い声で怖い感じだな S : 魔王なのに優しい感じがするな S : 魔王だけもう一度聴いてみようかな</p>	<p>◎知覚したことと感受したことの関わりについて考えられるよう、物語をイメージしながら、デジタルワークシートに入力した音楽を形づくっている要素がどの人物に当てはまるのかを分類するよう促す。 ○イメージの幅を広げができるよう、新たな特徴を知覚した場合は付け足してもよいことを助言する。 ○気になる部分を繰り返し聴くことができるよう、登場人物が分かるようにした、個人で視聴できるデジタル音源と動画を用意する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目 「魔王」の曲想と音楽を形づくっている要素との関わりについて理解している。 <観察・ワークシート（知）></p> </div>
<p>4 ここまで鑑賞した時点でのイメージした物語や「魔王」のよさや美しさ（怖さ）面白さ等を書き出しペアで共有する。（展開③17分）（★）</p> <p>S : ピアノ伴奏もかっこいいな S : 後半にいくにつれて、緊張感が増していくな S : 最後は残酷な感じだからバッドエンドかな S : 魔王は速度が速いからずっとドキドキするな S : 一人でいろんな声を出していてすごいな S : 曲名と激しい曲想が合っているな S : 子どもの4回目の旋律のよさを伝えたいな</p>	<p>◎様々なよさや美しさ、面白さがあることに気付けるよう、まとめたことをペアで伝え合い、共有できるよう促す。 ○より具体的に感じたことを伝えるができるよう、音楽を形づくっている要素を用いて記述するよう助言する。 ○音楽的な視点を大事にできるよう、イメージしたストーリーだけでなく、その根拠や感じたことも伝えるよう助言する。 ○より分かりやすく伝えるため、必要に応じて、音源を活用して説明するよう助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目 曲想と音楽を形づくっている要素との関わりや登場人物の声の特徴に関心をもち、主体的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。 <観察・ワークシート（態）></p> </div>
<p>5 本時を振り返り、次時に向けての確認をする。（終末3分）</p>	<p>○次時の学習につなぐことができるように、歌詞が無くても曲想と登場人物だけでよさが見つけられたり、イメージが膨らんだりしたことを共有し、次時の日本語詞と曲との一体化について興味を促す。</p>

3 板書計画 注:写真やICT活用の際の画面も可とする

音楽の要素

「魔王」 ゲーテ作詞／シューベルト作曲

登場人物

【電子黒板】（デジタルワークシート）

②音楽の要素と登場人物を 結び付けよう			
1			
2			
3			
4			

※コピーではなく、こちらに直接入力してもOK

【めあて】

曲想の変化や音楽の特徴から物語や人物をイメージし、「魔王」のよさを見つけよう

曲想の変化や音楽の特徴から物語や人物をイメージし、「魔王」のよさを見つけよう

② 音楽の要素と登場人物を結びつけよう

- ・1…父 2…子 3…魔王 4…共通
 - ・左の表から右の表にコピーして貼り付け
 - ・左の表に新たに、直接入力してもOK
 - ・イヤホンを使って個人で繰り返し鑑賞しよう

曲想の変化や音楽の特徴から物語や人物をイメージし、「魔王」のよさを見つけよう

④ ここまで感じた「魔王」のよさ、おもしろさ、怖さなどを書きだそう

- ・できれば三つ書き出してみよう
 - ・感じ取った要素や曲想（歌や伴奏）を
 基に考えてみよう

曲想の変化や音楽の特徴から物語や人物をイメージし、「魔王」のよさを見つけよう

① 曲想からできるだけたくさんの音楽の要素を見つけよう

- ・「音楽の要素カード」にある言葉でも、それ以外の言葉でもOK

曲想の変化や音楽の特徴から物語や人物をイメージし、「魔王」のよさを見つけよう

③ 想像してみよう どんな物語？会話？場面？気持ち？

- ・例：【要素】が○○なので、
～～な感じがしました。
 - ・ここまで自分が感じた音楽の要素をもとに
書いてみよう
 - ・イヤホンを使って鑑賞してOK

曲想の変化や音楽の特徴から物語や人物をイメージし、「魔王」のよさを見つけよう

⑤ ペアになって共有しよう

- ・画面を見せながら説明してもOK
 - ・実際に音源や動画を再生しながら説明してもOK